



リサイクルQ&A



Q: 家庭から出る草木剪定くずを処理する場所がないんですが、どうすればいいですか？



A: 自分の家で処理できない方は役場(本庁と野方支所)で無料搬入券を交付しますので事前に届出が必要です。

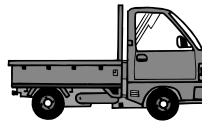
家庭から出る草木剪定くずも大切な資源のひとつです！

→ 草木や落ち葉などをリサイクルセンターへ搬入

事前に役場で無料搬入券交付の申請をする！
無料搬入券を持って有機工場へ運ぶ。



自分の家の垣根を自分で剪定する



トラックで持ち込む



そおりサイクルセンター
大崎有機工場
(野方地内)

○生ごみのバケツ回収をしている地域では、落ち葉など少量の場合は資源ごみ袋に入れて生ごみのバケツ横に置きましょう。(分別手引きP 24を参照)

追伸 平成 16年 7月より生ごみの埋立処分場への搬入が禁止されます。7月までには町内全域で生ごみ分別収集の説明会を実施いたしますので是非、出席して下さい。



《問い合わせ先》大崎町役場福祉保健課環境係 TEL 76 - 1111 内線 145

帽子をかぶる
今年も次のことに気をつけて、紫外線対策に取り組みましょう！
今さら・・・という気もしないではないですが、帽子は直射日光を避けることができるため、顔の肌を守るだけでなく、白内障や日射病予防にもつながります。できれば、帽子のつばは7 cm以上のものがベストです。

中降り注意、特に5〜8月頃までがいちばん紫外線量が多いと言われていて、日光に当たりすぎると、皮膚がんやしみ・しわの原因になったり、全身の免疫力が弱まり風邪などの感染症を引き起こしやすくなったり、角膜炎や白内障などの目の病気も引き起こします。今年も次のことに気をつけて、紫外線対策に取り組みましょう！



保健師だよ！

『紫外線にご用心！』

若葉の目にしみる季節を迎え、外出する機会も多くなりました。ここで油断できないのが『紫外線』です。例年この季節に『紫外線』について書いてきました。外線対策が身につけてきましたか？

紫外線は1年中降り注ぎ、特に5〜8月頃までがいちばん紫外線量が多いと言われていて、日光に当たりすぎると、皮膚がんやしみ・しわの原因になったり、全身の免疫力が弱まり風邪などの感染症を引き起こしやすくなったり、角膜炎や白内障などの目の病気も引き起こします。今年も次のことに気をつけて、紫外線対策に取り組みましょう！

肌を出さない
曇りの日でも晴れた日の80%の紫外線量があります。また、日陰でも紫外線の半分近くは地面の反射で入ってくるので油断なりません。外出するときは、できれば長袖を着てかけましょう。黒い色の衣類が一番紫外線をカットします。
日傘を使う
日傘は直射日光の90〜95%を遮ります。色は黒が一番効果的です。日焼け止めクリームを使う
最近では幼児用から男性用、女性用などいろいろな種類が出ています。一度にたくさん塗ってもあまり効果はなく、こまめに塗りなおすほうが効果があります。
かける時間
10時〜14時の間が1日の紫外線の半分を占めるほど、紫外線の強い時間帯です。できるものならこの時間帯には外出を避けたいものですが、そうはなかなかいかないので、外出するときは今まで述べてきたことに気をつけて対策をとりましょう。



健康に関する相談は、保健センターへお気軽にどうぞ!! TEL 76 - 1111 (内線 146・147)